

# 農作物技術情報 第8号 畑作物

発行日 令和3年 10月 28日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ 大豆 収穫時期を迎えています。茎水分が低下しにくい莢先熟が見られますので、子実水分・茎水分の低下を見極め、速やかに収穫を行いましょう。
- ◆ 小麦 播種後に除草剤を散布していない圃場は、小麦の生育や雑草の発生状況に応じて土壌処理剤を選択し、必ず散布しましょう。また、圃場条件が整ってから積極的に麦踏みを行い、凍上害や倒伏を回避しましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検を行い、整備しておきましょう。

## 大豆

今年は、播種以降に連続する降雨が少なかったこと、7月中旬から下旬にかけて降水量が少なく高温で経過したことなどから湿害の発生が少なく、全般に生育が旺盛となりました。7月下旬の開花期以降は、8月中旬と9月中旬に気温が平年を下回る時期がありましたが、登熟は概ね順調でした。ただし、開花期前後の高温と干ばつによる水分ストレス等を受けた圃場では、青立ち株が多くみられています。

現在、大豆は収穫時期を迎えており、大型雑草や、青立ち株が見られる圃場では、収穫前の抜き取り作業が行われています。また、莢は成熟しているものの茎水分が低下していない、いわゆる莢先熟の株も見られますので、汚損粒を発生させないように、茎水分を確認するなどの確な収穫期の判断が必要です。

### 1 収穫前の抜き取り

青立ち株や大型雑草などを収穫前までに圃場から撤去してください。青立ち株や大型雑草等は汚損粒の原因となるだけでなく、コンバインのカッター等で切断されずリール周辺で豆に接触して裂莢を増加させることがあります。また、オペレーター等が刈取りに集中できず、大幅に作業効率が低下します。

### 2 適期収穫

収穫適期（茎水分 50%以下、子実水分 18%以下）に達した大豆は速やかに収穫してください。晴天等が続くと裂莢が急激に進むほか、子実水分が低下しすぎると乾燥調製時などに豆が割れやすくなります。また、収穫が遅れると紫斑粒やしわ粒、腐敗粒の発生も増加します。

収穫作業のポイント等は「農作物技術情報第7号畑作物」（令和3年9月30日発行）をご覧ください。

## 小麦

小麦の播種作業は9月中旬から始まり、出芽、初期生育は順調に経過しています。

### 1 雑草防除（重要！）

小麦4葉期まで散布可能な土壌処理剤もあります。播種後に土壌処理剤を散布していない圃場では、除草剤の登録内容を確認し、**土壌処理剤を必ず散布**してください。どうしても土壌処理剤が散布できなかった場合には、越冬後、雑草が小さいうちに茎葉処理剤を散布してください。

### 2 麦踏み

表1にあるように、麦踏みは茎数の増加や倒伏防止などに大きな効果があります。近年雪が少ない年が続いていますが、積雪が少なく土壌の凍結が強い地帯や、土壌が軽い火山灰土などでは、麦踏みは特に有効です。積極的に麦踏みを行ってください。

ただし、圃場が乾いていることが実施の条件となりますので、排水不良の圃場や土壤水分が高い場合、あるいは碎土率が極端に低い場合は実施を避けます。

#### ※麦踏みの実施方法・実施時期

- ・鎮圧ローラーやタイヤなどを用います。
- ・実施時期は、小麦4葉期～雪解け後の**茎立ち前まで**。
- ・回数は、越冬前・越冬後それぞれ1回以上を目標にします。暖冬年や播種が早い場合は回数を増やします。

表1 麦踏みの主な効果

項目	内容・理由
茎数の増加	主稈や早期分げつを一時的に抑制する芯止めの効果などによる。
倒伏の防止	節間伸長の抑制や草丈の短縮、稈基重の増大によるもの。
凍上害の防止	霜柱の発生による根の浮き上がり等による枯れ上りを防ぐ。
耐寒性と耐干性の強化	麦踏みにより葉が傷つけられ、それ以降細胞溶液の濃度が高まる。
生育の均一化	主稈や早期分げつの生育が抑制される反面、弱小分げつの生育が促進され、全体として生育が揃う。

### 3 雪腐病の防除

県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域では薬剤防除を行います。この場合、例年発生している雪腐病の種類に応じて薬剤を選定します。

ここでは、県内で発生が多い雪腐褐色小粒菌核病と紅色雪腐病について、防除薬剤と防除時期を紹介します。（※令和3年10月22日農薬登録確認済み）

雪腐褐色小粒菌核病	防除薬剤	防除時期
 <p>褐色で2～3mm程度の菌核を多数形成</p>	トップジンM水和剤、 バシタック水和剤75、 オキシンドー水和剤80、 キノンドー水和剤80	<b>根雪前</b> 散布後2週間以内に根雪にならな かった場合、あるいは散布後～根 雪前までに30mm以上の雨が降った 場合は再散布
	フロンサイドSC	<b>根雪前4週間程度前から散布可能</b> 散布後～根雪開始前の積算降水量 が120mm以上、あるいは日最大降水 量65mmを超える場合は再散布

紅色雪腐病	防除薬剤	防除時期
 <p>望遠すると圃場が淡紅色に見える。菌核はない</p>	ベフラン液剤25 オキシンドー水和剤80、 キノンドー水和剤80	<b>根雪前</b> 散布後2週間以内に根雪にならな かった場合、あるいは散布後～根 雪前までに30mm以上の雨が降った 場合は再散布  ※ただし、ベフラン液剤25で種子 消毒した場合には、紅色雪腐病を 対象とする根雪前の茎葉散布を省 略できる。
	フロンサイドSC	<b>根雪前4週間程度前から散布可能</b>  散布後～根雪開始前の積算降水量 が120mm以上、あるいは日最大降水 量65mmを超える場合は再散布

雪腐病は連作圃場ほど発生が多い傾向が見られます。このため、耕種的防除として、常発地では輪作を取り入れる、融雪期には消雪を早め排水をはかる、融雪後の追肥を行う、などの対策を行います。

#### 4 排水路の点検

明渠や排水路の点検整備を行って、滞水による湿害等を防いでください。

次号は11月25日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日～11月15日は  
秋の農作業安全月間です**

**全集中 ゆとりの呼吸で 安全作業**

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。